

## 【IGAS 2011 記者発表 吉田社長ごあいさつ】

本日はお忙しい中、また、酷暑の中、多数の皆さまにご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

連日、厳しい暑さが続いておりますが、東日本大震災の被災地の皆さま、いまなお避難所生活の皆さまの苦難を考えますと、私どもが暑さに根を上げてはいただけません。あらためて、震災に合わせた皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興をお祈りいたします。

そのような情勢の中でIGASが開催されることとなりますが、私どものブースでは、まず第一に、電力事情を鑑み、LED照明を使用する、あるいは大型機器の稼働をできるだけ短い時間に限定するなど、きめ細かく省エネに配慮した節電ブースを目指し、設計を進めているところです。

### ●印刷業界の近況とIGASスローガン

さて、印刷業界の現状ですが、あらためてご説明するまでもなく、リーマンショックや大震災などの外的要因に加え、IT化による「紙離れ」などによって印刷需要の減少が続いています。何としてもこの厳しい現状を打開し、印刷業界が元気を取り戻していかなければなりません。このような状況を受け、今回のIGAS2011における私どものブースでは、『つくろう。印刷の「強い未来」を。』というトータルスローガンを掲げ、最新のソリューションをご紹介します。

このスローガンは、的確な変革によって印刷需要を拡大し、より強い印刷業界をつくっていきたい、そのお手伝いをさせていただきたい、という、私どもの決意を表わしたものです。

### ●「i-Vision Wing」

具体的な施策としては、これまでFFGSがご提供してきたトータルソリューション『i-Vision X』を、今回、印刷需要拡大のために対応領域をさらに広げ、『i-Vision Wing』へと進化させました。

『Wing』とは、もちろん「翼」のことです。逆風を乗り越え、印刷業界みんなで力強く羽ばたいていこうという気持ちを込めた名称です。

飛ぶために「翼」は不可欠ですが、翼があるだけでは飛躍できません。羽ばたく「力」が必要となります。その力の一つとして、従来の印刷の枠を広げ、より幅広い分野の製作物を一括して受注できる「ワンストッププロモーション」が、これからの時代、重要なキーワードになってきます。この「ワンストッププロモーション」の実践へ向けて、印刷会社の皆さまが従来の枠を超え、より多方面に展開できるように『i-Vision X』に新たなソリューションを加えたものが、『i-Vision Wing』です。

具体的なソリューションの内容につきましては、のちほど個別にご説明させていただきますが、概要だけご紹介しますと、『i-Vision Wing』では、『ECONEX』などに代表される「商業・出版印刷の分野」を中核に、クレジットカードの請求書のデータ出力などを対象とする「データプリント分野」と「パッケージ印刷分野」、2つのソリューションを新たに展開いたします。

### ●商業・出版印刷「ECONEX」

まず、従来から印刷事業の柱になってきた「商業・出版印刷」では、環境刷版システムとして皆さまから高い信頼をいただいております『ECONEX』を、「さらなる処理の安定化」と「優れた環境性」を実現する新製品として、発表させていただきます。

また、環境刷版の最終進化形と言える無処理システムもさらにレベルアップさせ、「小部数・短納期・低コスト」に即応する製品を発表させていただきます。

#### ●デジタルプレス分野「JetPress720」

次に、「デジタルプレス分野」ですが、最も注目していただきたいのは、何と云っても『JetPress720』です。昨年4月の発表会から長らくお待ちしましたが、IGASを目標にリリースする予定です。オフセットでも従来のPODでもない、この高品位な「第三の印刷機」として、新たな印刷需要の喚起に極めて重要な役割を果たすものと考えております。

『JetPress720』の正式リリースを機に、FFGSでは専任の販売部隊をつくり、より印刷会社様のニーズにマッチしたご提案ができるよう体制強化を図ってまいりますので、ぜひご期待いただきたいと思っております。

#### ●データプリント分野「2800IJCCF」

さて、i-VisionXからi-VisionWingへのスケールアップにあたり、今回、新たに加わった「データプリント分野」は、トランザクションとも呼ばれていますが、クレジットカードの請求書などの情報に関わる多種多様な印刷物を、一つの大きな流れでまとめて扱うための新ソリューションです。この分野の軸になるラインアップとして、先週に富士ゼロックスが発表した『2800IJCCF』という出力システムを展示致します。

これは、『JetPress720』と同様に、最新のインクジェット方式を採用した連帳タイプのデジタルプレスで、データプリント分野に限らず、ダイレクトメールや簡単なチラシなどの商業印刷分野や新聞分野でも有効にご活用いただける、期待の新製品です。

従来までのPOD分野も、富士ゼロックスとのシナジーを一段と強化しながら、ソリューションの拡充に努めてまいります。

#### ●パッケージ分野「フレキソ印刷」

『i-VisionWing』への拡張により、もう一つ、新たに加わったのが「パッケージ分野」ですが、現在、パッケージ印刷も、商業印刷物と同じように商品の多様化によって、「小ロット・短納期化」が進んでいます。さらに、環境対応と安全性に対する要求が一段と高まってきており、溶剤を使わないパッケージ印刷が望まれています。

この動きに対し、欧米では、グラビア印刷からフレキソ印刷に移行していきましたが、日本では印刷物に対する要求品質が高いため、パッケージ分野におけるフレキソ印刷は、思ったほど普及していないのが現状です。しかし、レーザーで直接彫刻するDLE製版方式の開発により品質が大幅に向上し、当然、インクも水性インクを使えるため安全性・環境性に優れていますので、この先、日本においてもフレキソによるパッケージ印刷が普及していけると考えております。こうした状況を見据え、フレキソ分野で実績のあるコムテックス様との協業体制を強化し、フレキソを中心とした「より環境に優しく、より高品質なパッケージ制作のソリューション」をご提案してまいります。

#### ●新FFGSへ変貌

このように今回のIGASでは、『i-VisionWing』という新たなスケールのソリューションをご提案いたしますが、私どもFFGS自身も「新FFGS」として、さらなる前進を期して、大きく変貌してまいります。

### ●工業分野

その一つが、これまで長年取り組んでまいりました「工業用プリント基板分野」の新たな展開です。ご存じのように工業用分野においても、GTPのように、マスクフィルムを使わず直接基板に描画するシステムの導入が進んでいます。これに対応する基板用全自動デジタル露光システム『INPREX』を、富士フィルムが開発し販売しておりましたが、この4月からはFFGSが、全世界の販売と技術サポートを行なうことになりました。

また、携帯電話などに使われるフレキシブルプリント基板に半導体などの電子部品を実装する際に使用するキャリア『PROLEADER』の販売も新たに手がけ、積極的にこの分野に展開してまいります。

### ●アフターサービスの強化

新FFGSへの変貌、もう一つは、アフターサービスの強化です。

その具体策として、ハイブリッドワークフロー『XMF』を中心にした「海外向けのアフターサービス部門」を、富士フィルムと協力し、FFGSの辰巳事業所に設立いたしました。

アフターサービス、メンテナンスをワールドワイドに展開することによって、世界各地のユーザーから最新の情報が次々と辰巳に集まってまいりますので、そのデータを分析し、日本の情報に世界の情報を加え、随時、開発サイドにフィードバックし、「本当に役立つ技術や製品」の開発に貢献できれば、と考えております。

### ●まとめ

以上、IGASの出展概要および弊社の新たな取り組みについて長々とお説明いたしました。FFGSはこれからも「世界一の印刷総合商社」として、さらなる発展を期し、皆さまのお役に立てるよう経営者・社員一丸となって邁進してまいります。売上げも、2003年・設立当初は880億円ありましたが、近年は800億円を割るくらいになっています。しかし、「i-Vision Wing」によって印刷需要の拡大をはかり、今後3年間でデジタルプレス事業分野で80億円、パッケージ分野で50億円、さらに工業分野の70億円を加え、計200億円売上を増やし、1000億企業に成長したいと考えております。

印刷業界の皆さまと共に成長を続け、共に逆風を乗り越え、皆さまが未来に羽ばたいていく「力」の一助になればと思います。

印刷の「強い未来」を創造していくために、環境対策も人材育成も含め、あらゆる角度から業界支援に全力を尽くして取り組んでまいりますので、富士フィルム、FFGSの今後の展開に、どうぞご期待ください。ご静聴、ありがとうございました。